

利根保健医療圏

	<b>【圏域の基本指標】</b> [県値] 人口総数 647,166 人 人口増加率 (H23~H27) △1.8% [ 1.0%] 年齢3区分別人口 0~14歳 75,500 人(11.7%) [12.6%] 15~64歳 392,550 人(60.8%) [62.6%] 65歳~ 177,620 人(27.5%) [24.8%] 出生率 (人口千対) 6.2 [ 7.7 ] 死亡率 (人口千対) 9.9 [ 8.6 ]
	保健所 加須保健所・幸手保健所 圏域 (市町村) 行田市・加須市・羽生市 久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町

【脳卒中医療】

【目標】

脳卒中の予防と早期発見を進めるとともに、発症後の迅速かつ専門的な診療から、各病期に応じたリハビリテーション、在宅医療まで、医療サービスが連携・継続して実施される「医療連携体制」を推進します。

【主な取組】

- 脳卒中ハイリスク者に対する医学的管理、医療保険者による保健指導の充実
- 埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークなどの連携体制の促進
- 脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民へ啓発及び情報提供  
 (実施主体：医療機関、医師会、消防機関、医療保険者、市町、保健所、介護サービス事業所)

【糖尿病医療】

【目標】

特定健診・保健指導を効率的・効果的に実施し、生活習慣の改善を図り、糖尿病の発症を予防するとともに、糖尿病を発症している人については、重症化予防対策を推進します。ICTを活用し、かかりつけ医と専門医療機関との連携システムを推進します。

【主な取組】

- 特定健診・保健指導の効果的な実施
- 糖尿病性腎症重症化予防対策の実施
- 糖尿病患者の教育プログラムの充実
- 埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」の推進
- 糖尿病治療及び保健指導を担う専門職のスキルアップ  
 (実施主体：医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、医療保険者、市町、保健所)

【在宅医療の推進】

【目標】

在宅での療養を希望する患者が住み慣れた地域に必要な医療を受けるため、地域における医療や介護の多職種が連携したチームで、在宅療養に向けた退院支援、在宅療養生活の支援、急変時の対応、在宅における看取りなど、包括的かつ継続的な医療提供体制を推進します。

【主な取組】

- 在宅療養を支援する連携体制の推進
- 患者・家族を支える多職種協働の推進
- ICTによる在宅医療・介護連携ネットワークシステムの推進
- 地域完結型医療の推進  
 (実施主体：市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、医療機関、介護サービス事業所)

【健康づくり対策】

【目標】

栄養・食生活、運動、喫煙などの生活習慣に関する正しい知識の普及啓発を図り、健康に影響を及ぼす生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。特定健康診査やがん検診の受診率の向上に努め、ハイリスク者等に対する的確な保健指導を実施します。

【主な取組】

- 健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発
- 禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進
- 民間企業や地区組織などと連携した健康増進計画の推進
- 生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進
- 地域、学校等における食育等の推進  
 (実施主体：市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、医療保険者、学校、食生活改善推進団体)

【親と子の保健対策】

【目標】

子育て世代が気軽に相談や必要な支援を受けられるような地域社会を目指します。不妊に関する治療費等への支援や専門相談体制の推進を図るとともに、不育症に関する支援を進めます。乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぐとともに、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。

【主な取組】

- 不妊に関する治療費等への支援や専門相談等の推進
- 生後4か月ぐらいまでの乳児の状況把握と育児支援
- 育児支援に重点をおいた保健指導の充実
- 子供の心の健康に関する相談や情報提供の充実
- 関係機関の連携強化による子育て支援
- 休日・夜間における適正な小児科受診の啓発  
 (実施主体：市町、保健所、医師会、歯科医師会、医療機関、母子愛育団体)

